



知夫小中学校
 Tel 08514-8-2015
 Fax // 8-2312
 〒684-0100
 知夫村 1053-1
 [HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

新年度を迎えて

校長

柔らかな春の日差しのもと、小学部四名、中学部四名の新生を迎え、小学部二十四名、中学部九名（新規島留学二名）の全校児童生徒三十三名で、令和六年度の学校生活が始まりました。

今年度も「未来を切り拓く、心豊かでたくましい、知夫の子どもを育成する」ことを基本目標とし、九年間を通して「自ら学ぶ子ども、共に生きる子ども、たくましく生きる子ども、ふるさとを愛する子ども」の育成を目指します。

新しい年度をスタートするにあたり、始業式や入学式では、児童生徒に向けて、大切にしてほしいことを三つ伝えました。

一つ目は「まずは自分でやってみる」ということです。うまくいくこともあれば、そうでないときもあります。できることもあれば、できないこともあります。はじめから結果を気にして躊躇することなく、勇気を持って、たくさん挑戦してほしいと思います。

二つ目は「取り組んだ道のり（過程）を大切にす」ということです。自分の取り組みをしっかりと振り返り、自分の「よさ」や「個性」はどのように生かされたのか、どのようにすればできるようになるかということ、自分自身で理解して、次に生かしてほしいと思います。

三つ目は「力を合わせる」ということです。力を合わせて達成する喜びや充実感をたくさん感じてほしいと思います。また、そのような経験を通して、互いに認め合い、補い合い、支え合うことができる豊かな人間関係を構築し、温かい学校風土を醸成してほしいと思います。

【学校教育目標】
 未来を切り拓く
 心豊かでたくましい
 知夫の子どもを
 育成する

【めざす子ども像】
 ・自ら学ぶ子ども
 ・共に生きる子ども
 ・たくましく
 生きる子ども
 ・ふるさとを
 愛する子ども

令和六年度 入学式

小学部教頭

それら三つのことを指導の基盤に据え、日々の授業や学校行事、地域の「ひと・もの・こと」を生かした活動、小中一貫校だからこそできる異学年による学びなど、本校の教育活動が児童生徒主体となるよう創意工夫を重ね、充実を図っていきます。自立していくために必要な力は主体的な営みの過程でこそ育まれます。全教職員でそのような児童生徒の営みを支え、励ましていきます。

最後に、地域・保護者の皆様には、立場は違っても児童生徒のよりよい成長を願う仲間として、共に手を携えて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

満開の桜となった四月九、十日に中学部、小学部の入学式が行われました。中学部の入学式では、新生のが、勉強をがんばり、友情を深めていきたいと誓いの言葉を述べました。また、小学部の入学式では担任の先生の呼名にあわせて四名の一年生が元気よく返事をして、知夫小中学校の新たな仲間となりました。

新生の一年先輩となる二年生も、はりきって歓迎の言葉で迎えることができました。今年度久しぶりに一・二年生が単式学級となりますが、授業や給食などいろいろな場面で交流を行っていきます。活気のある教育活動の実現に向けて新年度が始まりました。

新一年生紹介



- ①好きな食べ物
- ②好きな色
- ③がんばりたいこと

- ①さくらんぼ
- ②むらさき・水色
- ③マラソン大会

- ①プリン
- ②くろ・しろ・にじ色
- ③リレー

- ①ぶどう
- ②むらさき・水色
- ③マラソン大会

- ①お母さんのからあげ
- ②むらさき・水色
- ③マラソン大会

一年生と仲良くなる会

児童生徒会担当

四月十九日（金）に「一年生と仲良くなる会」を行いました。一年生のインタビュー式自己紹介や、縦割り班開き、じゃんけん列車などのゲームを計画しました。少ない準備時間でしたが、スムーズに運営を行うことができました。また、短い時間の中でしたが、新一年生と仲良くなり、笑顔あふれる会となりました。

中学部三年

先日行った一年生と仲良くなる会では、一年生が楽しんでくれたのでよかったです。しかし、少しあいまいなことなどがあったので、もっとリハールをして確認をとるようにしたいと思いました。ですが、上級生は一年生のことを詳しく知れたと思うし、一年生も上級生のことを知ることができ、お互いに仲が良くなったと思うので良かったです。



